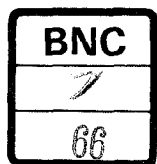


昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和56年7月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第36卷 第4号

vol. 36 no. 4

物性研究



京大附図

1981/7

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は *Progress, Journal* の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm²)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません**。どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニュース

[東京大学・教養学部]

○ 談話会 (題目)

7月 6日 A.Zee “Baryon number non-conservation”

○ セミナー (題目)

5月 8日 R.A.Ferrel “Up dating Newton-Laplace Theory of Sound”

5月 22日 R.A.Ferrel “Second Sound Attenuation”

6月 19日 B.McCoy “Spin correlation in 2-D Ising Model”

7月 3日 西 森 “Spin Glass”

7月 10日 R.A.Ferrel “Dynamical Critical Phenomena of Second Sound Attenuation” (Discussion)

[名古屋大学・工学部]

○ 談 話 会

5月 8日 “合金におけるスピノーダル分解”

村 田 純 教氏 (名大・工)

○ 非線形問題研究会

・ 第8回 4月 17日 “渦の運動とコヒーレントな乱流構造”

桑 原 真 二氏 (名大・工)

・ 第9回 5月 20日 “Nonlinear Waves of Spreading Cortical Depression”

Prof. R.M.Miura (Univ.of British Columbia)

“Topics on Solitons”

Prof. Y.H. Ichikawa and others

[訂 正]

物性研究 36-1, 「形の物理学」研究会報告でA2の目次, A68の標題「集落・住民の形態分析の手法について」は「集落・住居の形態分析の手法について」, 又A1, A2目次のページが「F」になっているのは「A」のミスプリントでした。

編 集 後 記

「確率 50% で雨」と聞いて一体何%の人がどの程度の信用をするのか、何%なら不安になるのか、「不快指数」とともに気になる用語です。もちろん発表する側には明確な定義があるわけですから答はちゃんと返ってくる、私など「弁当忘れても傘忘れるな」あるいは「ないしよ雨」という記録に残らない雨に度々悩まされる山陰地方の出身で、今だに毎日折りたたみ傘を持ち歩いているので、予報そのものは全然気になりませんが、その心理的効果は大へん興味があります。おそらく、この号が届く頃には全国的に「100%の確率」で夏のまっさかりだと思いますが、編集会議をやっている今は、梅雨に入ったのか入らないのか、100%雲でおおわれた毎日が続いています。

本誌で好評をいただいているのは「議義ノート」と「研究会報告」、いずれも特定の人にしか手に入りにくいものだからでしょう。同じような性格のものとして、科研費総合班(物性関係)の報告書の転載を目下検討中です。(H.T.)

物 性 研 究

第 36 卷 第 4 号
1981 年 7 月 20 日 発行

発行人 長 岡 洋 介
京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所
京都市左京区百万辺交叉点上ル東側
TEL (075) 721 4541 ~ 3
発行所 物 性 研 究 刊 行 会
京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内

定価 年 8,760 円

Supplement of the Progress of Theoretical Physics No. 69

「久保亮五教授還暦記念」特集号案内

Progress in Statistical and Solid State Physics

本号は久保亮五教授の還暦を記念して、久保教授の門下生および研究面で久保教授と深い交渉のあった研究者から寄せられた41篇の論文を収録したものである。扱われている主題は統計物理学から固体物理学に至る広い分野にわたり、久保教授の研究活動とその影響力の広汎さを物語っている。寄稿論文の著者は以下の通りである。

M. A. Alpar, P. W. Anderson, M. Ashida, S. F. Edwards, H. Ezawa, M. E. Fisher, H. Fukuyama, H. Haken, E. Hanamura, H. Hasegawa, N. Hashitsume, S. Inagaki, H. Ishiuchi, T. Izuyama, H. Kamimura, A. Kawabata, K. Kawamura, K. Kawasaki, I. M. Khalatnikov, D. J. Kim, K. Kubo, V. V. Lebedev, P. A. Lee, A. J. Leggett, T. Matsubara, K. Matsuo, B. Misra, S. J. Miyake, H. Mori, T. Moriya, Y. Nagaoka, S. Nakajima, A. Natori, P. Nozieres, Y. Obata, T. Oguchi, S. Okamoto, Y. Ono, A. Onuki, D. Pines, I. Prigogine, J. D. Saint, Y. Saito, K. Sasaki, J. Shaham, F. Shibata, M. Suzuki, T. Takagahara, S. Takagi, F. Takano, M. Tanaka, T. Tokihiro, K. Tomita, I. Tsuda, S. Ukon, Y. Wada, H. Yahata, K. Yoshimitsu, K. Yosida.

頒 価 私費払 ￥ 4,800—— (私費払の方は料金を添えてご注文ください。料金は郵)
公費払 ￥ 7,200—— (便振替でお願いします。現金書留はご遠慮ください。)

6月10日発行

〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内

理論物理学刊行会

振替貯金口座 京 都 3 9 7 7 番
取引銀行第一勧業銀行百万遍支店
電話 (075)722 3540
(075)751 2111 (内線7051)

Supplement of the Prog. Theor. Phys.

- 1975 No. 57 Selected Topics in Semiconductor Physics Y. Hamakawa et al.
 No. 58 Elementary Modes of Excitation in Spherical Odd-Mass Nuclei T. Marumori et al.
 1976 No. 59 Exact Treatment of Nonlinear Lattice Waves M. Toda et al.
 No. 60 Beta Decay and Nuclear Structure M. Morita et al.
 1977 No. 61 Few-Body Problems in Nuclear System T. Sasakawa et al.
 No. 62 Microscopic Methods for the Interactions between Complex Nuclei
 M. Kamimura et al.
 1978 No. 63 A Survey of Quark-Line Rule S. Okubo
 Constituent Rearrangement Model and Hadron Reactions S. Otsuki et al.
 Models of Bjorken Scaling Violation K. Matumoto et al.
 No. 64 Nonlinear Nonequilibrium Statistical Mechanics - *Proceedings of the 1978*
Oji Seminar at Kyoto, July 10 ~ 14, 1978 - H. Mori et al.
 1979 No. 65 Effective Interactions in Nuclear Models and Nuclear Forces S. Nagata et al.
 No. 66 Local Covariant Operator Formalism of Non-Abelian Gauge
 Theories and Quark Confinement Problem T. Kugo and I. Ojima
 No. 67 Theory of Elementary Particles Extended in Space-Time O. Hara et al.
 1980 No. 68 Comprehensive Study of Structure of Light Nuclei
 - *Based on the Viewpoint of Alpha-Cluster Correlations and*
Molecular Structure - H. Horiuchi et al.

頒 価	私 費 払	公 費 払
Nos. 57, 58, 59, 60, 61, 62	¥ 2,400	¥ 3,600
Nos. 63, 65	¥ 2,700	¥ 4,000
No. 64	¥ 4,200	¥ 6,300
No. 66	¥ 2,000	¥ 3,000
No. 67	¥ 3,000	¥ 4,500
No. 68	¥ 4,000	¥ 6,000

----- 切 ----- 取 ----- 線 -----

注 文 書

Supplement No. _____ 部 _____

氏 名 _____

所 属 機 関 名 _____

送 本 先 _____

送 金 額 _____ 金 _____ 円 _____

講読規定

個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、**100円**お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
	計 4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。(振替貯金口座 京都5312)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 36—4 (7月号) 目 次

○Volterra方程式の1-periodic解について……………	成田 和明…………	207
○重力場での拡散方程式の解とその特性		
1.インパルス応答……………	餌取 寛次…………	209
○講義ノート		
低次元磁性体のスピン相関—中性子散乱実験を中心として—		
……………	平川金四郎…………	217
○修士論文 (1980年度)		
ESR Studies on Spin Dynamics in Low Dimensional Magnetic Salt……………	植村 壽公…………	277
○ニュース……………		293
○編集後記……………		294